



国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール特選 農林水産大臣賞
佐伯 和香さん 播磨町立蓮池小学校 6年 (応募時)



国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール特選 文部科学大臣賞
西川 芽生さん 兵庫県立姫路工業高等学校 2年 (応募時)

兵庫の国有林

兵庫森林管理署(以下「兵庫署」という。)は、兵庫県内の林野庁が所管する国有林約3万haを管理経営しています。兵庫県の県土面積は約84万haでそのうちの67%、約56万haが森林ですので、兵庫署が管理経営する森林は兵庫県の森林面積の5.4%にすぎません。全国で見ると国有林は森林面積の約30%ですし、国有林の割合が高い北海道(国有林率:55%)、東北(同:44%)と比べると国有林の占めるウェイトが低いですが、県内最高峰の氷ノ山(標高:1,510m)、宍粟市にある森林セラピーロードの赤西溪谷や音水溪谷、北中山国有林の宝塚自然休養林、六甲山系の一部など、自然に親しむ機会の多い皆さんにとってもなじみが深い森林が実は国有林であったりします。また、音水や四ヶノ仙の国有林で「保護林」を設定し、天然スギやイヌブナ等を保護したり、保護林と保護林を連結する「緑の回廊」を設定して野生生物の移動経路の確保を図ったりしています。

兵庫署が所管する森林は約60%が人が植えた人工林です。人工林が水源かん養機能や土砂流出・土砂崩壊防止機能等を高度に発揮するためには必要な手入れを適時適切に行う必要があります、これまでは森林の手入れとして間伐を重点的に行ってきました。一方で、現在、戦後植林した人工

林資源が成長し、成熟期を迎えつつありますので、引き続き間伐を実施しながら、順次、皆伐を行い林齢の平準化を図り、森林を再生可能な資源として整備していく必要があると考えています。森林の公益的機能を発揮させながら、資源として循環利用していくためには「伐って、植える」という取組が非常に重要です。一昔前は自然保護のために木を伐ってはいけないという意見も少なくありませんでしたが、最近では伐って森を育てるということの理解が深まり、国有林でもボランティアや一般企業の社員の方々に間伐などの森林の手入れに参加して頂くような機会も増えました。また、直接山で作業するだけでなく、建築物の材料としてもっと木を使ったり、いろいろな場面で木材でできた商品を選んで頂くことが、林業を活性化し、最終的には森を活かすことに繋がるということも理解されつつあるように思います。

兵庫署では、今後も保護林制度などで貴重な森林を守りながら、間伐などを行いつつ木材を安定的に供給するとともに、より費用がかからないかたちで伐って、植えて、森林に仕立てていく取組を兵庫県や県内の市町、林業事業体など関係する方々と連携しながら取り組んでいきたいと考えています。

林野庁 近畿中国森林管理局
兵庫森林管理署 署長 宇山雄一

森林ボランティア「神吉町内会 ふれあい里山会」のご紹介

当会は、町内会が所有する通称「神吉山^{かんきやま}」の里山整備を通して、住民が気軽に利用できるふれあいの場を創出し、町内住民の生活文化の向上等を目的として平成21年度に結成しました。

目的達成のための事業としては、

- ①間伐や下草刈、遊歩道整備などの里山整備、②森とのふれあい活動の推進（木工イベントなど）であり、月1回の定例の活動を続けています。この整備にあたっては、県、市の支援を受け、また、東播工業高等学校、東神吉小学校の協力も得ながら進めてきました。

神吉山は、小山^{こやま}、行者山^{ぎやうじゃやま}、中山^{なかやま}、北山^{きたやま}の四山を総称したものです。尾根伝いには、5つの古墳が点在しているほか、日露戦争での戦没者の供養塔、戦没した神吉城主と一族の供養のために建立された西国33霊場の菩薩像が祭られており、霊山ともいえ、地域住民が愛してきた山です。また、山裾には、多く

の市民が利用している加古川市の健康づくりの拠点施設である「ウェルネスパーク」が立地しています。

このような特性を活かし、擬木を使った階段や道標の整備により、ウェルネスパークの利用者や地域住民が気軽に山歩きが出来る環境となり、山歩きする人の姿を見かけることが増え、町内会や市の企画によるウォーキングのイベントでも利用されています。

また、森とのふれあい事業として、木工教室や東神吉小学校の生徒とのあじさい、つつじの植樹祭も定期的に開催しています。

このような活動を継続して行く中で、現在では、定例の活動に加え、一部の会員により、間伐材を利用した炭焼き、シイタケ栽培、ミツバチの飼育、木彫りなどの楽しみを加えた発展的な取組となってきています。

今後も地域住民に愛される山となるように会員一同微力ながら歩んでいきたいと考えています。



「企業の森づくり」のご紹介 株式会社日本海水

～「企業の森づくり」にご参加の企業・団体様を紹介します～

森の名称：「日本海水の森」

株式会社日本海水は国内唯一の複数の製塩工場を有し、国内トップシェアを誇る「塩」のリーディングカンパニーです。その主力工場である赤穂工場は、間伐材等の木質チップを使用した、木質バイオマス発電にも取り組んでいます。電気は、製塩に利用されるとともに、地域の工場・家庭にも供給されています。

このたび、この木質チップの主たる供給源の地でもあり、また県下有数の森林地域である宍粟市（県立国見の森公園）において、企業の森づくり活動を開始しました。

「海を護ることは山を護ること」を目標に適切な山林管理を通じて、海の環境保全も含めた総合的な環境保全に取り組んでいます。また森づくり活動を通じて、社員の環境意識の醸成、人材育成及びCSR活動の場の創設を目指します。



緑の募金事業成果発表会を開催しました

緑の募金が地域の森林整備や緑化にどのように活用されているのかについて情報提供する「緑の募金事業成果発表会」を平成30年2月18日(日)に開催しました。

当日は休日にもかかわらず企業や森林ボランティア団体をはじめ県下各地から約70名の方にご参加いただきました。

はじめに平成29年に多額のご寄付をいただいた企業・団体に、国内外の森林・みどりの推進へのご貢献に対して、(公社)国土緑化推進機構からの贈られた感謝状を秋山理事長からお渡ししました。当日は3つの該当企業・団体のうちダイドードリンコ株式会社西日本第一営業部神戸オフィス様が受け取られました。

続いて、兵庫県立南但馬自然学校の校長で兵庫県立大学名誉教授の服部保先生から「播磨国風土記より明らかになった里山林の歴史」と題した基調講演を行っていただきました。

講演では、里山林の歴史として、先ず縄文時代の自然林から現在の里山林(里山林放置)までを、その後、奈良時代に編纂された「播磨国風土記」の記述から読み取れる当時の植生について、他では聞くことのできない内容を詳しくお話しいただきました。

基調講演の後には、募金を活用して森林整備や緑化活動を実施した6活動団体の代表者から募金事業の成果や活動の概要、課題等を発表していただきました。



(公社)国土緑化推進機構理事長賞
ダイドードリンコ株式会社
西日本第一営業部神戸オフィス



兵庫県立南但馬自然学校 校長
兵庫県立大学名誉教授
服部保先生



東お多福山草原保全・再生研究会
桑田 結さん



ごもくやさん
上村 哲三さん



郷瀬町
北村 守さん



林田町里山会
重岡 孝允さん



豊かな心 揖保川21会
高島 康治さん



出石城下町を活かす会
瀬尾 満夫さん

6団体の発表終了後、兵庫県立大学大学院・淡路景観園芸学校教授の平田富士男先生をコーディネーターに、パネリストは前述の発表団体の皆様に加わり、会場からの質問に応答する形でパネルディスカッションを行いました。ボランティアの新規メンバー獲得方法や活動費用の調達方法など発表者共通の課題が質問に寄せられ、予定していた時間では足りなくなるような状況でした。



平田富士男先生



平田富士男先生とパネリストによるパネルディスカッション

最後に神戸学院大学客員教授で、当協会の運営協議会委員長を務めていただいている上羽慶市先生より講評をいただきました。

発表会を通じて企業と森林ボランティア団体の情報共有が進み、また基調講演やパネルディスカッションにて新しい知識や情報を得られ、今後の緑の募金事業がより効果的に実施されるよい機会となりました。

今後とも、「緑の募金」にご協力いただいた皆さまに対して、募金の成果を目に見える形でお伝えしていきますので「緑の募金」への一層のご協力をお願いします。



上羽慶市先生



平成29年度緑化作品コンクールの結果



緑化思想の高揚を図るため、県下の小学校の児童並びに中学校・高等学校の生徒を対象にコンクールを実施しました。応募点数は、緑化ポスター原画の部1,731点、緑化標語の部1,159点、そのうち入選点数はポスター原画の部32点、標語の部20点でした。特に優秀な作品をご紹介します。

ポスター原画の部

小学生の部1席



播磨町立播磨西小学校
4年 花岡 真人さん(応募時)

中学生の部1席



神戸市立王塚台中学校
2年 原 優花さん(応募時)

高校生の部1席



兵庫県立姫路工業高等学校
2年 西川 芽生さん(応募時)

標語の部

小学生の部1席

加古川市立陵北小学校

1年 鳴瀧 ひよりさん(応募時)

「すくすくと ちいさなめから
ひろがるみどり」

中学生の部1席

加古川市立中部中学校

2年 北園 夏月さん(応募時)

「素敵だな 緑あふれる
豊かな地球」

高校生の部1席

兵庫県立農業高等学校

3年 佐藤 瑠華さん(応募時)

「未来にも 残す緑は
希望のたすき」

国土緑化運動・育樹運動コンクールの結果 県コンクール上位作品を(公社)国土緑化推進機構が開催する全国コンクールに応募しました。

国土緑化運動・育樹運動コンクールポスター原画の部



特選 農林水産大臣賞
播磨町立蓮池小学校
6年 佐伯 和香さん(応募時)



特選 文部科学大臣賞
兵庫県立姫路工業高等学校
2年 西川 芽生さん(応募時)



入選 国土緑化推進機構理事長賞
播磨町立播磨西小学校
2年 中能 唯さん(応募時)

国土緑化運動・育樹運動 入選

加古川市立中部中学校

2年 北園 夏月さん(応募時)

「素敵だな 緑あふれる
豊かな地球」



「緑の募金」にご協力をお願いします



森と緑は私たちの暮らしに限りない恵みをもたらし、豊かな地球環境を残してくれています。

このかけがえのない森と緑を守り育てていくために、家庭募金、学校募金、職場募金、街頭募金、団体募金、企業募金などの「緑の募金」を県下各地域で行っています。

ご寄付 の方法

ご協力いただく募金は、金額の多少を問わず次の金融機関へ振り込みをお願いします。

● 郵便振込

郵便振込の場合、公益社団法人兵庫県緑化推進協会に直接お問い合わせ下さい。専用の払込取扱票用紙をお送り致します。(手数料不要：協会負担)

● 銀行振込

口座：三井住友銀行兵庫県庁出張所
普通 3198438 (手数料が必要)
名義：公益社団法人 兵庫県緑化推進協会

募金運動の期間

春季 3月1日～ 5月31日
秋季 9月1日～ 10月31日

公益社団法人 兵庫県緑化推進協会 〒650-0013 神戸市中央区花隈町12番6号
TEL 078 (341) 4070 FAX 078 (341) 4071
URL : <http://www.hyogo-green.net/>

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

